

水産無償資金協力(グレナダ)  
「水産関連機材整備計画」供与式の開催

2016年11月2日  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館  
経済・開発協力班

11月2日、水産無償資金協力「水産関連機材整備計画」により整備された資機材の供与式典が、グレナダのセントジョージズに所在するメルビルストリート水産複合施設にて開催されました。メルビルストリート、グレンビル、ゴープに所在する過去に日本の無償資金協力によって整備された水産施設の機能向上を図るため、新たな冷凍機器等の資機材を供与することにより、同国の漁業を支援し、経済開発を支援することを目的として、4億8千4百万円の無償資金が供与されたものです。

同式典には、グレナダ側からダブレオ森林・漁業担当大臣、ジェサミー農業・国土・森林・漁業省次官、アイザック水産局長ほか約30人の政府関係者が、日本側からは佐藤公使参事官が、その他水産関係者やメディア等が出席しました。

挨拶の中で佐藤公使参事官は、日本は無償資金協力に加えて技術協力やトレーニングを組み合わせ、同国の持続的漁業を支援しており、同国の水産部門がカリブ地域における持続的で力強い産業の1つになることを期待している旨述べました。

ダブレオ大臣は、本件無償資金協力への感謝とともに、供与された資機材の適切使用に必要な体制の整備を約束しました。また、2017年-2030年漁業振興計画の遂行に関連し、さらなる協力を期待する旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でグレナダに対する開発支援を実施していく考えです。

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp